

えだまめ（茶豆）の栽培

佐渡農業普及指導センター

1 栽培のスケジュール

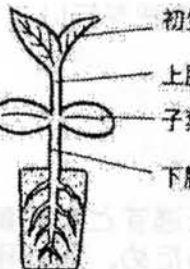
○：は種 △：定植 ■：収穫

品種	作型	4			5			6			7			8			9			主要品種
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
中生	露地	○																		新潟茶豆 越後ハニー 新小平茶豆
中晩生	露地																			庄内5号(ただ 茶豆5号) 晩酌茶豆

2 は種・育苗

◆えだまめは収穫適期が3～4日と短く、鮮度が重要視されることより、作業能力に応じて1回当たりの栽培規模を設定し、段まきを行う必要があります。

◆128穴セルトレイを使用しは種を行います。培土は市販培土が管理しやすい。

生育目標	管理作業	気温		地温	作業のポイント
		日中	夜間		
は種 	は種作業	30 ～ 25 ℃	15 ℃	25 ℃	<ul style="list-style-type: none"> ◆床土を詰めた後に十分かん水しておく。覆土後はかん水しないこと。(床土の水だけで発芽させる) ◆乾燥防止のため、は種・覆土後、ラプシート等で全体を被覆する。(被覆資材は遮光を重視し、新聞紙+ラプシート等) (透明ポリのべたがけは危険。ラプシート・有効ポリの方が安全) ◆発芽するまでかん水は絶対しない。
始発芽 	被覆物除去				<ul style="list-style-type: none"> ◆3～4割発芽したら被覆資材・新聞紙はすぐに取り除く。 ◆被覆除去後、培土が乾いているようなら少量かん水。 ◆は種～発芽までの間はハウス内温度に注意。ハウス内が30℃以上になりそうな日は、早めにハウスサイドを開け換気を行う。
揃発芽 					
展子開葉 	保温・換気開始	25 ～ 23 ℃	15 ～ 13 ℃	～ 20 ℃	<ul style="list-style-type: none"> ◆かん水は床土(ポットの裏)の水分をよく確認してから行う。多かん水は徒長・根部腐敗の原因となるため注意する。 ◆基本は朝1回の十分なかん水。夕方のかん水しない。 ◆並べたトレイの周辺が乾きやすいので注意。 ◆子葉展開後は気温の急激な上昇に注意!! (30℃以上で急激に徒長する)
展初開生始葉 			23 ～ 22 ℃	13 ～ 12 ℃	～ 17 ℃
初全開葉	馴化・かん水量を増やす				<ul style="list-style-type: none"> ◆霜が心配なければ外に出す。 ◆かん水量を徐々に増やしていく。 ◆日中しおれるようなら葉水をやる。
本出葉の 			22 ℃	12 ～ 10 ℃	～ 15 ℃

3 定植

(1) 施肥

【施肥例(1アール当たりkg)】

肥料名	基肥	追肥		成分			備考
		①	②	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
完熟堆肥	200						[追肥時期] ①開花始～盛期 ②蒴肥大期～ 収穫7日前
苦土炭カル	12						
中生・晩生たまり専用	8			0.4	1.2	1.2	
NK化成		1.5	1.5	0.54		0.54	
合計				0.94	1.2	1.74	

(2) 耕耘・畦立て

◆栽植密度：畦巾120～140cm、株間30cm、条間30cm、2条
(1アールあたり、480～550株)

◆耕耘はほ場が乾いた状態で行います。転換畑は排水を考え、20～25cmの高畦とします。

◆土壤水分を確保した後、マルチを行います。

(3) 定植

定植苗の適期は、初生葉展開期です。

育苗日数にこだわらず、苗姿で判断します。

◆保温管理

4月中旬定植の場合は定植後べたがけ資材を被覆し、初期生育の促進を図ります。被覆期間は長くても本葉5枚までとし、開花前には除去して十分に光を当てるようにします。

5月定植の場合は基本的に必要ありませんが、低温が続く場合は活着Mで被覆します。



初生葉展開

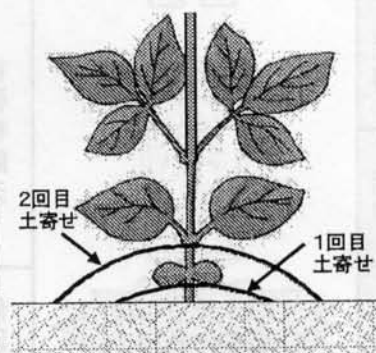
【定植適期苗】

4 栽培管理

(1) 中耕培土

マルチ栽培の場合は不要です。マルチ栽培以外、直まき栽培の場合は雑草の発生抑制、莢の汚れ防止、根量の確保のため2回の中耕培土を行います。

1回目：3～4葉期に子葉節付近まで土を寄せる。
2回目：6～7葉期（開花直前）に初生葉節まで土を寄せる。



(2) 追肥

食味向上・維持のため、基本的に開花期、収穫前の2回の追肥を行います。
(施肥例を参照)

(3) 病虫害防除

べと病、フタスジヒメハムシ、アブラムシ、タネバエ等

5 収穫

莢の厚みを確認し、適期を逃さないように収穫します。適期を逃すと莢の黄化、品質劣化の原因となります。特に茶豆の場合は高温期の収穫となるため、朝収穫を原則とし、品温の低い状態で脱莢・選別・調整を行います。短時間に調整作業ができる体制と、製品をすぐ冷蔵できる環境が必要です。

えだまめ

《殺虫剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用害虫						
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	アフラ ムシ類	ハダ ニ類	ネキ リ虫	ハスモン ヨトウ	アザミウ マ類	その他	
ネオニコチノイド*	モスピラン水溶剤	1,764 ／100g	20kg	7日前まで	3	1	○					○	コナジラミ類
	ニッソラン水和剤	1,438 ／100g	2000倍～ 3000倍	21日前まで	2	1		○					
ネオニコチノイド*	クルーザーFS30	9,723 ／250ml	その他 参照	播種前	1	1				○			乾燥種子1kg当り 原液6ml塗沫処理
マクロライド*	アフアーム乳剤	2,058 ／100ml	1000～ 2000倍	3日前まで	2	1					○		
ピレスロイド*	★アグロスリン乳剤	997 ／100ml	2000倍	7日前まで	3	1		○					マメシクイカ* フタスジヒメハムシ カメムシ類
有機リン	オルトラン水和剤	766 ／100g	1000倍	21日前まで	3	1	○				○		
チアニコチニル	ダントツ水溶剤	1,953 ／125g	2000倍～ 4000倍	3日前まで	3	1	○						フタスジヒメハムシ カメムシ類
ピレスロイド*	トレボン粉剤DL	1,186 ／3kg	4kg	21日前まで	2	1					○		シロイチモンジマダラメイガ* フタスジヒメハムシ カメムシ類

《殺菌剤》

剤系	予防・ 治療効果	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用病害
				濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	
ジカホホキシイソド*	予	ロブラール水和剤	1,113 ／100g	1000倍	30日前まで	3	1	灰色かび病、菌核病

《除草剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				摘要
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	
アミノ酸	バスタ液剤	2,047 ／500ml	300～ 500ml	摘要参照	3	1	収穫14日まで (雑草生育期間定植前又は畦間処理)

★印は毒劇物農薬です。購入時には印鑑が必要となります。
 ※掲載価格は、平成22年3月現在の当用価格(税込)です。
 ※登録農薬は、平成22年3月現在の登録内容です。